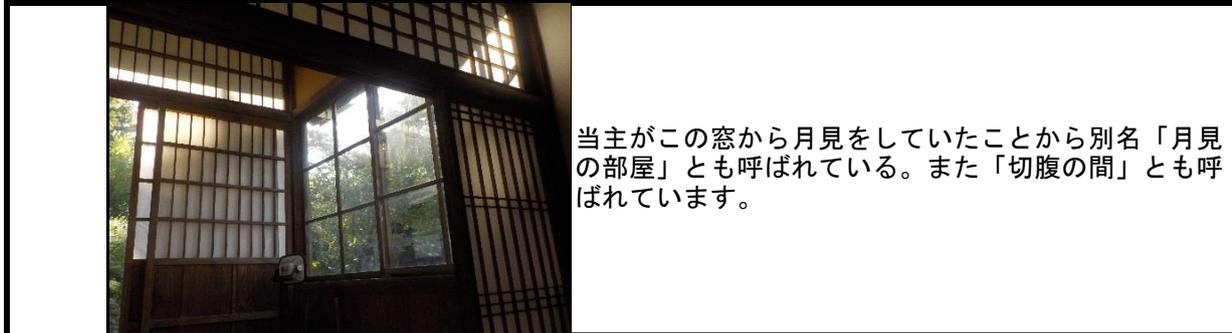


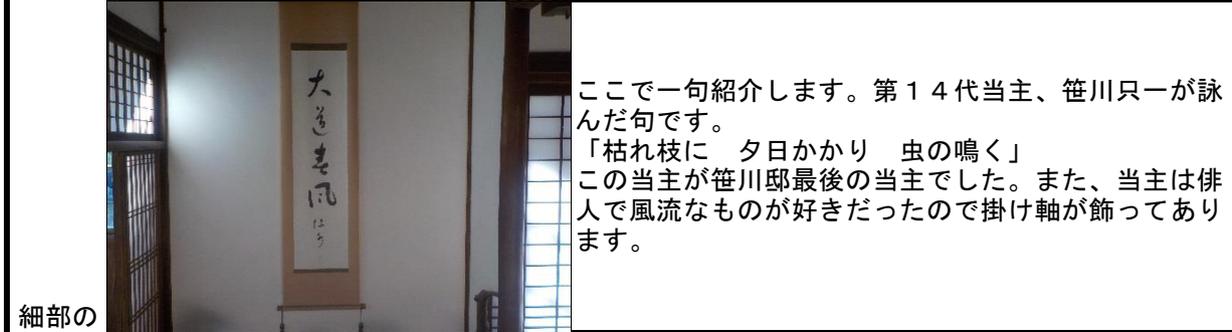
担当 エリア	C	居宅 1	名称	No 10	七畳の間
-----------	---	------	----	----------	------

エリア
全体の
概要や
特徴等

七畳の間は、当主のプライベートな客が来たときのための部屋です。



当主がこの窓から月見をしていたことから別名「月見の部屋」とも呼ばれている。また「切腹の間」とも呼ばれています。



ここで一句紹介します。第14代当主、笹川只一が詠んだ句です。
「枯れ枝に 夕日かかり 虫の鳴く」
この当主が笹川邸最後の当主でした。また、当主は俳人で風流なものが好きだったので掛け軸が飾ってあります。

細部の
解説



七畳の間と呼ばれていますが、この部屋は床の間部分を1畳分とり、実際には8畳の広さです。



笹川邸の初代当主は武田信玄の弟の信繁の子供です。その象徴がこの武田菱です。